

青年研修 「中央アジア・コーカサス混成／ アグリビジネス/アグリエコツーリズム」

対象国：カザフスタン、トルクメニスタン
受入人数：7名
受入期間：2018年6月13日～2018年6月29日



中央アジアのカスピ海に面している今回の参加国では、農業形態の多様化や、市場のニーズを捉えた付加価値化への取組み、人口の多い農村地域を軸とした農村観光などの、地域の特性を活かした産業活性化が強く求められています。

本研修は農業、畜産及び食産業分野を基盤に、行政や農業関係者が一体となって地域の活力を向上させる取組みを長年展開している十勝において、6次産業化やブランド化の意義、そしてその効果を学び、視野を広げることで、帰国後の安定した発展に向けた活動に活かすことを目的に実施しました。

十勝での学びから、研修員が組織や企業における自身の立場を各々活かし、農業がより身近で、魅力あるものとして親しまれるよう、新たな方法で発信していくことが期待されます。



アグリツーリズムの事例として坂東農場さんにて、農場ピクニックを体験しました。



十勝のアグリツーリズムの先駆けとなった鹿追町にて、地域資源の活用や今後の課題、地域ぐるみのツーリズムコンセプトを学びました。



道の駅ピア21しほろにて、飲食部門を経営する堀田さんより、地域らしさや町民の希望を尊重した、地域ブランディングについて学びました。



星野リゾート・トマム

雲海テラスの視察では、年に数回しか見られない珍しい雲海を見ることができ、地域の魅力を観光資源として活用した事例を体験しながら学ぶことができました。